

< 神が用意してくださる場所 >

ヨハネ 14:1-3

14 章から 16 章まで、主イエスの「別れの説教」

十字架にかかれる前夜、愛する弟子たちに語り出した最初のことは…

*「あなたがたは心を騒がせてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。」*

*(ヨハネ 14:1)*

心騒ぐのは、主イエス様が見えなくなるから。信じられるもの、信じるべきものが見えず、また、神を信頼する気持ちを持っているようで大事なところでその気持ちを失っている、信仰を失っているから。



**神を信じるとは、イエス・キリストを信じること。**

**イエスを信じれば、まことの神を信じることができる。**

「わたしの父の家には住む所がたくさんあります。」 (ヨハネ 14:2)

神のおられるところに、神をないがしろにした私たちのために「すでに」住む所がたくさんあるというのは、大きな慰め。私たちは神に受け入れられている。

「わたしが行って、あなたがたに場所を用意したら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしがいるところに、あなたがたもいるようにするためです。」 (14:3)

イエス様がしてくださった用意、それは、十字架のみわざと聖霊。

「…わたしが去って行くことは、あなたがたの益になるのです。去って行かなければ、あなたがたのところに助け主(=聖霊)はおいでになりません。でも、行けば、わたしはあなたがたのところに助け主を遣わします。」 (ヨハネ 16:7)

父の家にある住まいとは、物質的、物理的な場所のことではなくって、イエス様を信じる者とともに、今ここにあり、永遠に私たちのためにある霊的な場所。

**神が備えてくださる場所。**

**それは、物質的な隔たりや次元の違いさえも超えて神と共に生きる私たちの霊的な日常。  
それは、私がイエス様の中にいるような、イエス様と限りなく近くいることができる場所。  
イエス様を親しく見ることができる場所。**